

## ★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 竹内孔一 副委員長 金山 博・市瀬 眞  
幹事 榊 剛史・渡辺靖彦 幹事補佐 嶋田和孝・東中竜一郎

## ★音声研究会 (SP)

専門委員長 川端 豪 副委員長 北岡教英  
幹事 戸田智基・岩野公司 幹事補佐 大庭隆伸・能勢 隆

◎本研究会は NLC 研究会と SP 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月15日(月) 9:30~19:05  
16日(火) 9:05~18:20  
17日(水) 9:00~18:20

会場 東京工業大学すずかけ台キャンパス(横浜市緑区長津田町4259。東急田園都市線:すずかけ台駅徒歩5分。  
<http://www.titech.ac.jp/maps/>)

### 議題 第6回集合知シンポジウム

- SP-1. [ポスター講演] 調音クラスの事後確率に基づく言語識別の検討 ○平田拓海・高木一幸(電通大)
- SP-2. [ポスター講演] GMMとDNNを組み合わせた遠隔環境下での母国語認識  
○坂上綾太・王 龍標・張 兆峰・パーパツタナブリ コムデット・岩橋政宏(長岡技科大)
- SP-3. 講演音声における発話形式の違いを考慮した話者認識手法の検討  
○中辻康太(同志社大)・西田昌史(名大)・山本誠一(同志社大)
- SP-4. [ポスター講演] speech selection and environmental adaptation for asynchronous speech recording based on deep neural network ○Bo Ren・Longbiao Wang(NUT)・Atsuhiko Kai(Shizuoka Univ.)
- SP-5. 会議音声における音声区間検出のためのDeep Neural Networkとクロス適応の検討  
○中谷彰宏(静岡大)・王 龍標(長岡技科大)・甲斐充彦(静岡大)
- SP-6. HMMを用いた日本人英語音声合成における話者性を保持した韻律補正  
○大島悠司・高道慎之介・戸田智基・グラム ニュービック・サクリアニ サクティ・中村 哲(奈良先端大)
- SP-7. [ポスター講演] DNNに基づく特徴変換による残響環境話者認識  
○張 兆峰・王 龍標(長岡技科大)・甲斐充彦(静岡大)・李 衛鋒(清華大)・岩橋政宏(長岡技科大)
- SP-8. 音声クエリの複数認識結果を用いた読み系列の推定 ○大島聡史・伊藤義明(岩手県立大)
- SP-9. 英語発音距離の予測に用いる音響的特徴の検討と可視化  
○笠原 駿(東大)・史 天澤(清華大)・峯松信明・齋藤大輔・広瀬啓吉(東大)
- SP-10. Articulatory Controllable Speech Modification using Sequential Inversion and Production Mapping with Gaussian Mixture Models ○Patrick Lumban Tobing・Tomoki Toda・Graham Neubig・Sakriani Sakti・Satoshi Nakamura(NAIST)・Ayu Purwarianti(ITB)
- SP-11. 音声入力に基づく韻律制御機能を有するHMM音声合成システム  
○西垣友理・高道慎之介・戸田智基・ニュービック グラム・サクリアニ サクティ・中村 哲(奈良先端大)
- SP-12. MFCC領域におけるGMMクラスタリングを併用したNon-negative Matrix Factorizationによる雑音環境下音声認識 ○藤垣健太郎・柏木陽佑・齋藤大輔・峯松信明・広瀬啓吉(東大)
- SP-13. Multiple Non-negative Matrix Factorizationを用いた多対一声質変換  
○相原 龍・滝口哲也・有木康雄(神戸大)
- SP-14. 雑音環境下における特徴量重み付きマルチモーダル声質変換  
○真坂健太・相原 龍・滝口哲也・有木康雄(神戸大)
- SP-15. 話者コードを用いた話者正規化学習を利用したニューラルネット音響モデルの話者適応  
○柏木陽佑・齋藤大輔・峯松信明・広瀬啓吉(東大)
- SP-16. Recognition and Analysis of Emotion in Indonesian Conversational Speech  
○Nurul Lubis(NAIST)・Dessi Lestari・Ayu Purwarianti(ITB)・Sakriani Sakti・Graham Neubig・Tomoki Toda・Satoshi Nakamura(NAIST)
- SP-17. 複数出力サブネットワークを有するディープニューラルネットに基づく声質変換  
○橋本哲弥・柏木陽佑・齋藤大輔・広瀬啓吉・峯松信明(東大)
- SP-18. [ポスター講演] 対話者間の音声特徴類似度と対話の情報伝達効果の関係  
○陳 伯翰(名大)・北岡教英(徳島大)・武田一哉(名大)
- SP-19. [ポスター講演] 話者適応型Restricted Boltzmann Machineを用いた声質変換の検討  
○中鹿 亘・滝口哲也・有木康雄(神戸大)

SP-20. [招待講演] Dialogue state tracking in statistical dialogue management ○Kai Yu・Lu Chen (SJTU)

SP-21. [招待講演] 統計モデルに基づいた柔軟な音声合成—人間のようには喋る機械の実現を目指して—  
徳田恵一 (名工大/Google)

#### 16 日午後 NL/NLC ポスター発表

NLC-22. [ポスター講演] マイクロブログにおける利用度と感情表現 ○武富厚美・久野雅樹 (電通大)

#### NL/NLC 翻訳評価

23. スクランプリングを考慮した和訳の自動評価法の NTCIR-9 データによる検証

○高地なつめ・磯崎秀樹 (岡山県立大)

24. 同時音声翻訳における翻訳精度と遅延時間を同時に考慮した評価尺度

○三重野隆史・ニュービッグ グラム・サクティ サクリアニ・戸田智基・中村 哲 (奈良先端大)

25. 中学生は機械翻訳された英語対話文完成問題を解けるか? ○藤田 彬・松崎拓也・新井紀子 (NII)

#### 言語の解明

NLC-26. ことばには意味がない (デジタル言語学) —意味は体験と思考の記憶のみである—

得丸公明 (自然思想家)

NLC-27. 「放射線」を刺激語とする反応語の分析の試み—小学校 6 年生に対する放射線授業の直前直後の連想検査結果をもとに— 幸 浩子 (京大)

28. 知的障がい者を対象としたわかりやすいの文構造の解明

○及川更紗・大塚裕子 (公立はこだて未来大)・打浪 (古賀) 文子 (淑徳短大)

29. 自閉スペクトラム症者の自伝的記憶の語りの言語処理

○荒牧英治・四方朱子・宮部真衣・白田泰如・浅田晃佑 (京大)・綾屋紗月・熊谷晋一郎 (東大)

#### 17 日午前 NL/NLC 概念・項構造

NLC-1. 日本語の語彙的換言知識の質的評価 ○梶原智之・山本和英 (長岡技科大)

NLC-2. 計量データに基づく名詞概念の選択—「統合物語生成システム」における一機構として—

○小野淳平・小方 孝 (岩手県立大)

NLC-3. 述語項構造解析システムの構築 ○池田吉優・竹内孔一 (岡山大)

4. 接続標識「ノニ」をマーカーとした明示的でない因果関係の抽出

○藤田 央 (横浜国大)・藤田 彬 (NII)・田村直良 (横浜国大)

#### NL/NLC 文生成

5. ソースコード構文木からの統計的自動コメント生成

○小田悠介・札幌寛之・ニュービッグ グラム・サクティ サクリアニ・戸田智基・中村 哲 (奈良先端大)

6. フローグラフからのレシピ文自動生成 ○山崎健史・森 信介・河原達也 (京大)

#### 17 日午後 NL/NLC 応用処理 1 (12:45~)

NLC-7. 物語の焦点化機構とその「統合物語生成システム」における実装

○秋元泰介 (電通大)・小方 孝 (岩手県立大)

8. 仮名漢字変換ログを用いた単語分割・読み推定の精度向上 ○高橋文彦・森 信介 (京大)

NLC-9. 宿泊施設のリニューアルを指向した宿泊施設評判分析システムの構築 ○門田拓真・竹内孔一 (岡山大)

#### NL/NLC 国際会議参加報告

10. EMNLP 2014 参加報告会 江原 遙 (NICT)・鍛冶伸裕 (東大)・金山 博 (IBM)

#### NL/NLC 応用処理 2

NLC-11. 単語間の意味的關係を用いた番組リンク生成

○三浦菊佳・山田一郎・宮崎太郎・宮崎 勝・松井 淳・加藤直人・住吉英樹・田中英輝 (NHK)

12. パラフレーズを考慮した機械翻訳の誤り箇所選択

○赤部晃一・ニュービッグ グラム・サクティ サクリアニ・戸田智基・中村 哲 (奈良先端大)

13. 階層的フレーズベース翻訳におけるピボット翻訳手法の応用

○三浦明波・ニュービッグ グラム・サクティ サクリアニ・戸田智基・中村 哲 (奈良先端大)

#### NL/NLC 新たな試み・思考

14. 単純化した句情報と特徴量選定の最適化による母語推定の精度向上

○田中正浩・王 瀾 (早大)・山名早人 (早大/NII)

NLC-15. クラウドソーシングによるアレルギー・リスク推定—仮説形成から実験までの研究を半自動で行う試み—

○荒牧英治・四方朱子 (京大)・渡部恵理子 (アイアールアルト)・宮部真衣・白田泰如 (京大)・綾屋紗月・熊谷晋一郎 (東大)

16. 母語のモノラル聴覚と文法処理—例外としてのピダハン— 得丸公明 (自然思想家)

◆NLC: 情報処理学会; 自然言語処理研究会連催

SP: 状処理学会; 音声言語情報処理研究会連催, 人工知能学会; 言語・音声理解と対話処理研究会共催

◎本プログラムは暫定版です。最新版は Web 等で御確認下さい。

☆SP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月22日(木), 23日(金) じゅうろくプラザ〔締切済〕テーマ:時系列データ処理, 音声一般

3月2日(月), 3日(火) ホテルミヤヒラ(石垣島)[1月9日(金)] テーマ:電気音響, 音声, 信号処理一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>